

# ハイライトよねやま 49

(財)ロータリー米山記念奨学会  
2004年3月10日発行

## 1. 寄付金速報 ~特別寄付金増進を目標に

2月までの寄付金は、前年同期と比べ5.2%減、約6千万円の減少でした。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が6.2%減です。当会では、頂いた寄付金のすべてを奨学事業費に充てています。今年度の寄付金目標は16億円ですが、このままでは到達は難しい状況です。前年度寄付額達成率の資料などもお送りする予定ですので、年度末に向けての残りあと4カ月、特別寄付金に重点を置いた寄付増進へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 2. 第2期基礎調査タスクフォース委員会報告 ~次の主役は皆様一人ひとりです~

3月2日(火)に、第2期基礎調査タスクフォースの第3回委員会が開かれました。最終回となる今回の委員会では、1,000人におよぶロータリアンの貴重なご意見と、1,800人以上の米山学友の声をもとに、『基礎調査から見えてきたもの』と題した報告書をまとめました。これから地区協議会や米山月間を通じて、地区やクラブでさらにご協議いただき、その声を2006年度の制度改編につなげていく方針です。明日の米山奨学会の方向性を決めるのは、皆様です。米山奨学事業の次なるステップに、どうぞ「手」をお貸しください。

## 3. 2004学年度の米山奨学金合格者が決定!

2月までに全国で行われたロータリーの地区選考委員会による選考の結果、2004学年度米山奨学金の新規採用合格者650人が決まりました。今年度からの継続者を含めると、926人の米山奨学生が決定しました(クラブ米山奨学金、特別米山奨学金は除く)。地区米山奨学委員長へのアンケートでは、選考において「異文化への認識を深め、理解しようとする姿勢があるか」、「日本語が話せて、コミュニケーションをはかる意欲が高いか」を重視した地区が多かったようです。これから合格者には、地区によって世話クラブが決められ、さらにクラブでカウンセラーが選定されます。5月のオリエンテーションを経て、正式に米山奨学生となります。

## 4. 「米山奨学事業に役立てて」5人の指導教員から米山奨学会に寄付(2540地区:秋田)

奨学生の指導にあたった大学の先生方から、「些少ですが米山奨学事業に役立ててください」と寄付の申し出があったのは、国際ロータリー第2540地区主催の米山奨学生歓送会での出来事です。このたび、秋田ロータリー・クラブを通じてご寄付いただいたのは、今年3月に奨学期間が終了する米山奨学生の指導教員で、秋田大学、秋田県立大学の5人の教授です。大学を中心に、教育界でロータリーの留学生支援への取り組みは高く評価されています。その理解の輪をさらに社会に広げていくことが、これからの米山奨学会の課題です。

表彰制度を改定しました! 本年度から累計十万円毎に米山功労者として表彰いたします。詳しくはホームページをご覧ください。

(裏面につづく)

## 5. 米山奨学生ハンドブックが新しくなりました

2004 学年度奨学生に配布する『奨学生ハンドブック』ができました。新しいハンドブックでは、奨学生が困ったときのバイブルとなるよう、目次に工夫し、ロータリアンとの交流についての事例研究や、留学生を取り巻く社会的環境の説明、トラブルに巻き込まれないための心得など、新しい情報を提供しています。地区でのオリエンテーションやカウンセラー研修会で、ぜひご活用ください（奨学生には3月中旬に配布し、世話クラブ・カウンセラーには、クラブ事務所宛に4月末までにお送りします）。

## 6. 奨学期間終了式で、ソニーの人事統括部長が記念講演（2750 地区・2580 地区：東京）

～ 語学力・専門性・異文化理解の心をもって、社会に羽ばたいてとエール～

2月19日に都内のホテルで開かれた東京地区（国際ロータリー第2750地区、第2580地区）の奨学期間終了式では、ソニー株式会社人事センター・リソースマネジメント部統括部長の中田研一郎氏を講師として、『日本企業から見た留学生の人材活用』と題した記念講演が行なわれました。中田氏は、留学生を含めた外国人を積極的に採用することで“内なる国際化”を推進するソニーの戦略と現場事情を例に、「玉ねぎではなく、桃になれ。核のある専門性をもって、社会で活躍してほしい」と、これから巣立つ奨学生にエールを送りました。奨学生は日本と世界を結ぶ「懸け橋」です。その活躍の場は、母国に限らず、日本に、そして世界に広がっています。

ソニーの中田研一郎氏と大島精次常務理事 / 広報担当理事との対談  
『内なる国際化を目指して～知的資源として留学生を考える～』が、  
「ロータリーの友」4月号のよねやまだよりに掲載されます。ご期待ください。

## 7. 米山奨学会理事 小林 茂氏（2540 地区）逝去

国際ロータリー第2540地区の理事 小林 茂氏が、2月6日にご逝去されました。享年73歳でした。小林理事は、1998-99年度の同地区パストガバナーで、2000年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2001年8月からは、広報専門委員としてもご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：<sup>みね</sup>峯  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/